

# お庵四方堂 あんしほうどう



関谷に四方道というお庵がある。明治のはじめごろ建てられものだが、長い年月の中にいたみがはげしくなり、村の世話人たちの努力でお念仏を唱える人や御詠歌（寺々をお参りする人が、その仏をたたえてうたう歌）を流す女性たちや特志な方たちの寄附によって、昭和五十二年八月八日改築された。堂内の錦の幕、壇かざりなどもそろえられ、村の人たちはたいへん喜んだ。

さて、関谷に観音池という池がある。池の持ち主は、横内馨になっている。明治のはじめごろのこと、雨が少なくてお百姓さんたちが田の水に困って、山のふもとにため池をつくることになり、土を掘っていると、土の中から観音さまの像があらわれた。そこで、このお庵に観音さまをお祭りした。また、池の名も「観音池」とつけられた。

昔から真言宗（空海〈弘法大師〉）によって開かれた仏教の宗派）の人たちが毎月十七日の夜、ここに集まってお念仏を唱え、御詠歌を流している。お庵の中では将棋や碁も打てるようになって村の老人たちのいこいの場ともなっている。